

診療技術部 薬剤科



中心静脈栄養の輸液の混合は、無菌室での慎重な作業です



理想は知識とスキル、
温かいハートを持つ
「顔の見える薬剤師」です。



薬剤科長
十河裕子

適切な薬物治療の実施、薬の副作用から患者さんを守ること、それは薬剤師の責任です。その責任を全員で大切に持ち、調剤の安全性はもちろん、カルテ画面や服薬指導時の患者さんの情報、副作用の早期発見、相互作用チェックなどに力を入れています。事故があつてはいけない職場ですから、指さし、声出しでの確認は必須としています。また、医薬品の専門家として

散薬の調剤。薬品名は厳重にチェックします



のレベルアップを常に志し、薬剤師の研修の強化に当たっています。それが医療の質の担保にもつながると思っています。

ただし、専門性も重要ですが、何よりも重要な薬剤師の使命、それは患者さんの薬についての不安を受け止めることです。そのためスキルですし、それに加えて患者さんやそのご家族にとって何でも相談しやすい、温かみのある人間でなければいけないと思っています。「人に優しく、くすりに詳しく」の目標を胸に、患者さんから顔の見える薬剤師でありたいと思います。



クラークがしっかり業務をサポート

